

事業コード	H28-農-継-01		区 分	国庫補助	県単独
事業名	経営体育成基盤整備事業		部局課室名	農林水産部 農地整備課	
事業種別	ほ場整備		班 名	農地整備班 (tel) 018-860-1824	
路線名等	陣場岱		担当課長名	佐藤 暢芳	
箇所名	北秋田市		担当者名	長嶋 満	
総合計画との関連	政策コード	02	政 策 名	国内外に打って出る攻めの農林水産戦略	
	施策コード	02	施 策 名	秋田米を中心とした水田フル活用の推進	
	指標コード	02	施策目標(指標)名	生産性の向上による高収益農業の実現に向けた基盤整備の推進	

1. 事業の概要

事業期間	H23 ~ H30 (8 年)	総事業費	10.4 億円	国庫補助率	55	
事業規模	用排水路L=14.2km、揚水機場N=1式、道路工L=3.4km					
事業の立案に至る背景	<p>農業者の高齢化や米価の低迷等により、担い手になるべき後継者不足が深刻。消費者ニーズに即した売れる米作りの推進や、他産地に打ち勝つことが出来る戦略作物による産地づくり、加えて担い手の確保・育成が急務である。</p> <p>基幹的用水施設である陣場岱揚水機や支線用水路は築造後50年が経過し、補修に要する維持管理費は年々増加しており、早急に施設の改修を図る必要がある。</p>					
事業目的	<p>老朽化している基幹的用水施設や排水路、道路を一体的に整備し、維持管理費の節減により、低コスト農業の実現と土地利用型農業の確立を図る。</p> <p>農地の集団化を促進し、北秋田市の振興作物である枝豆、きゅうり、山の芋等の作付け誘導を図り、地域間競争に耐えうる足腰の強い農業生産体制を構築する。</p>					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	943,000	1,039,000	96,000		
	経費内訳	工事費	842,000	913,000	71,000	用水路工(運搬土)の増
		用補費	13,000	33,000	20,000	
		その他	88,000	93,000	5,000	
	財源内訳	国庫補助	518,650	571,500	52,850	
		県 債	233,400	257,200	23,800	
		その他	165,025	181,800	16,775	
一般財源	25,925	28,500	2,575			
事業内容	用排水路工 L=14.2km 揚水機場 N=1式	用排水路工 L=14.2km 揚水機場 N=1式				
事業の進捗状況	平成24年度から工事を実施し、揚水機場は平成25年度に完了。用排水路延長14.2kmのうち、平成27年度までに支線用水路3.8kmを完了している。平成28年度は支線用水路・小用水路4.3kmの実施を予定しており、平成30年度に完了する予定である。					
事業推進上の課題	平成26年度に創設された農地中間管理事業と連携し、更なる農地の利用集積を図りながら、余剰労働力を活用した複合経営の導入を積極的に推進する。					
関連する計画等	「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」(産地づくりと一体となったほ場整備の推進)及び「第2期ふるさと秋田農林水産ビジョン」(産地づくりと一体となったほ場整備の推進)					
情勢の変化及び長期継続の理由	農政改革の影響等により、米偏重経営からの脱却と複合経営の推進が急務となっている。本事業を継続的に推進することにより整備された汎用農地が担い手に集積され、新たな農業経営を可能とするため、重点的に事業を推進する。					
事業効率把握の手法及び効果	指 標 名	評価箇所における担い手等への農地集積率				
	指 標 式	地区内の担い手等の経営面積 ÷ ほ場整備地区面積				
	指 標 の 種 類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無	
	目 標 値 a	73 %		データ等の出典	a=促進計画書	
	実 績 値 b	51 %			b=達成状況報告書	
達成率 b / a	69.9 %		把握の時期	平成28年3月		

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	指摘事項への対応

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	地域農業の構造改革を推進するために、ほ場整備事業を契機とした農地の流動化、担い手の確保・育成の必要性が一段と高まっている。また、農道が狭小で地下水位も高く、転作作物の導入が困難な状況であるため、水稻に偏重した農業経営から脱却できない状況である。これらの問題解決や担い手の確保・育成を進めるためにも、本事業が最も妥当な事業である。	5点
緊 急 性	農業従事者の高齢化や担い手不足が急速に進展する中、中核的担い手の確保・育成など、地域農業の体質強化が強く望まれている。また、水田の畑地利用による大豆などの産地づくりといった新たな水田農業の展開も求められている。	8点
有 効 性	担い手の地区内経営面積は68.4haであり、目標値の70%となっている。また、設立済みの法人及び個人担い手20戸へ農地を集積し、水稻のほか大豆に取り組むなど、事業の有効性が発揮されている。本事業は、「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」における「秋田米を中心とした水田フル活用の推進」を支える取組として位置づけられている。	31点
効 率 性	事業の費用便益費は2.04であり、効率性は高い。総費用の現在価値1,660百万円、総便益の現在価値3,400百万円。再生骨材の使用によりコスト縮減に努めている。	8点
熟 度	事業実施予定区域の関係者のほとんどから事業内容について同意を得ている。受益者、土地改良区、北秋田市が一体となって進められており、事業推進体制に問題は無い。環境への配慮として、濁水流出防止や騒音・抑制機械の使用に取り組むとともに、リサイクル製品の利用に努めている。	28点
判 定	ランク () 事業判定ランク となっており、早期の事業完了に向けて継続すべきと考える。	80点
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止 各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、完了に向けて継続することが妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

担い手等への農地集積及び複合経営のための汎用農地の整備を引き続き進めるとともに、工事の実施にあたっては一層のコスト縮減に努める。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 ほ場整備事業

事業コード (H28-農-継-01)
箇所名 (北秋田市)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	事業の必要性					
	社会経済情勢変化による需要変化	増大している 特に変化はない 低下している	5 3 0	5		
	計		5	5		
	緊急性	農業施策との関連性				
緊急性	農地汎用化の推進状況	十分に取り組んでいる 部分的に取り組んでいる 一部しか取り組んでいない	5 3 1	5		
	他事業との関連	他事業との関連	関連する他事業との調整で緊急性が高い 他事業はないが、単独で十分な効果がある	5 3	3	
	計		10	8		
	有効性	当初計画の具体的効果発現(地区内)				
有効性	高度経営体の育成数	80%以上 50%以上80%未満 50%未満	10 5 1	10		
	担い手への農地集積率	60%以上 20%以上60%未満 20%未満	10 5 1	5		
	担い手への農地集積増加率	実施前より30%以上増加 実施前より30%未満増加 実施前より増加無し	5 3 1	1		
	大区画率	1ha以上が50%以上(中山間は標準区画30a以上) 1ha以上が35%以上50%未満(中山間は標準区画30a以上) 1ha以上が25%以上35%未満(中山間は標準区画30a以上)	5 3 1	5		
	上位計画への貢献度	ふるさと秋田元気創造プランでの位置付	戦略を支える取組として貢献度が高い 戦略を支える取組に間接的に貢献する 戦略を支える取組への貢献度は低い事業である	10 5 1	10	
	計		40	31		
	効率性	事業の投資効果				
	効率性	費用対効果	B/C = 1.0以上 B/C = 1.0未満	5 0	5	
		事業実施コストの縮減				
		対策内容	効果が発現している 実施している 検討中である	5 3 1	3	
		計		10	8	
	熟度	事業の推進				
熟度	事業の同意状況	全員の同意が得られている 若干の未同意者がいるが事業実施に支障はない 未同意者がいるため事業実施に支障がある	5 3 0	3		
	事業の推進体制	事業推進体制が整備されておらず、事業実施に支障がある 事業推進体制が整備されている	0 5	5		
	前年度までの進捗比	計画より進捗している 概ね計画どおり(90%以上) 計画より遅れている(90%未満)	10 5 1	10		
	他官庁との協議調整	協議・調整済みで事業推進に影響はない 協議・調整中であるが事業推進に影響はない 協議・調整中で事業推進に影響する	5 3 0	5		
	環境との調和への配慮状況					
	環境保全への配慮	十分に配慮している 配慮している 配慮が不十分である	10 5 0	5		
	計		35	28		
	合計			100	80	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		